

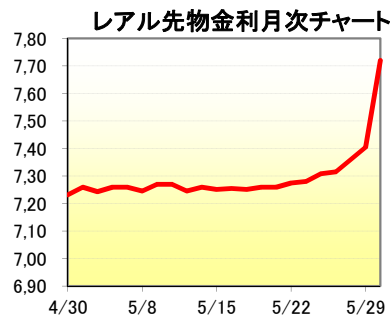
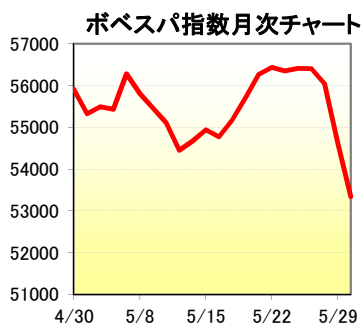
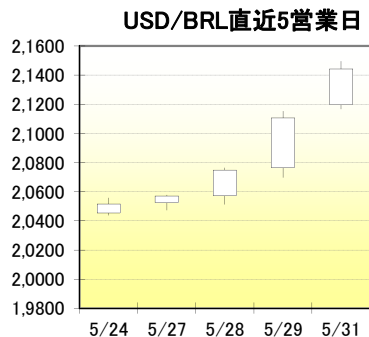
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			5月24日	5月27日	5月28日	5月29日	5月31日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,0480	2,0550	2,0700	2,1090	2,1440	+0,0350
	USD/YEN	Spot	101,31	100,94	102,35	101,18	100,45	-0,7300
	EUR/USD	Spot	1,2937	1,2931	1,2875	1,2934	1,2991	+0,0057
	BRL/YEN	Spot	49,37	49,07	49,33	47,93	46,92	-1,0100
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,09	1,11	1,11	1,11	1,13	+0,0199
		1Year(p.a.)	1,34	1,35	1,31	1,26	1,31	+0,0437
	Real Interest	6MTH(p.a.)	8,06	8,08	8,06	8,04	8,34	+0,3043
		1Year(p.a.)	8,33	8,33	8,34	8,26	8,67	+0,4143
Stock	Bovespa		56.406	56.396	56.036	54.635	53.506	-1.128,61
Bond	CDS Brazil 5y		133,02	133,02	134,48	142,03	146,33	+4,2980
	Global 40		120,375	121,750	120,700	120,700	120,525	-0,1750

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	なし
純債務対GDP比 (4月)	35.4%	35.4%	35.5%	
Nominal Budget Balance (4月)	-7.1B	-7.7B	-15.9B	
基礎的財政収支 (4月)	13.0B	10.3B	3.5B	

4. 週間市況、トピックス

- ・ 今週の為替相場は US\$1=R\$2.0520 で寄り付いた。
- ・ 週初のレアルは米英市場が祝日で休場のため、レアル相場の流動性は極めて低く、値動きは限定的となったが、寄り付き直後に週間高値となる US\$1=R\$2.0470 を付けた。
- ・ 翌 28 日には 5 月の米消費者信頼感指数が予想を大幅に上回り、約 5 年振りの高水準となったことを受け、米資産購入が減速するとの見方が広がると、米株価やユーロが大きく下落、レアルもつられて一気に半年振りの水準となる 2.0700 まで急落した。
- ・ 週央にかけてはマンテガ伯財務相が「レアルの下落に対する懸念はない」とコメントしたことを受けて伯中銀によるドル売り介入警戒感が弱まり、レアルは一気に 2.1150 まで続落。
- ・ 祝日明けの 31 日はレアル売り圧力が引き続き強く、週間安値となる US\$1=R\$2.1490 まで下値を拡大すると、伯中銀がドル売り介入を実施、レアルは一時 2.1200 まで反発するも、その後は再び 2.14 台前半まで売り戻され、結局 US\$1=R\$2.1440 で越えた。
- ・ 尚、週央の COPOM においては予想外の 50bp の利上げが決定され、ブラジルの政策金利 (SELIC) は 8.00% となった。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものの、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
6/3	FGV CPI IPC-S	May 31	0.37%	0.40%
6/3	製造業購買担当者指数	May	--	50.8
6/3	貿易収支(100万)-月次	May	\$1849M	-\$994M
6/3	輸出(百万)	May	\$22170M	\$20632M
6/3	輸入(百万)	May	\$20296M	\$21626M
6/4	鉱工業生産(季調済/前月比)	Apr	0.9%	0.7%
6/4	鉱工業生産(季調前/前年比)	Apr	7.0%	-3.3%
6/5	FIPE消費者物価指数(月次)	May	0.25%	0.28%
6/5	Serasa Retail Activity			
6/5	PMIサービス業	May	--	51.3
6/6	FGVインフレ率-IGP-DI	May	0.16%	-0.06%
6/6	COPOM Monetary Policy Meeting Minutes			
6/6	自動車生産(Anfavea)	May	--	340865
6/6	自動車販売(Anfavea)	May	--	333738
6/6	自動車輸出(Anfavea)	May	--	55084
6/7	IBGEインフレ率-IPCA(前月比)	May	0.38%	0.55%
6/7	インフレ率(IPCA)-IBGE(前年比)	May	6.52%	6.49%

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.10-2.16

今週は英米で月曜が祝日、ブラジルでは木曜が祝日であったことを受けてレアル相場の流動性は低下、ボラティリティーは高まった。外部要因による影響でレアル軟調に推移する中、伯中銀によるドル売り介入警戒感が高まったものの、結局当局は介入を実施せず。加えてレアル安容認とも取れる伯財務相発言によってレアルは下値を拡大。伯金融政策委員会(COPOM)においては0.50%の利上げが実施されたが、市場は当局が為替を通じたインフレ抑制を行わないと読み取り、レアルは2009年末以来の水準となる2.1500付近まで続落。そこで初めて伯中銀がドル売り介入を実施したことで同水準が新しいレンジの上限となる可能性もあり、来週も中銀を試す動きが見られるであろう。加えて、米雇用統計を中心に多くの主要指標が発表されるほか、米資産購入ペースを巡っては市場の注目が集まっており、方向性次第で更なるレアル相場への影響も考えられることから注意が必要であろう。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したのですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department